

株式会社山梅

建設業 / 群馬県

“Green diversity ～緑の多様性～”を社会に広める



代表取締役社長 山田 通明 (やまだ みちあき)

Profile > 1970年3月生まれ。49歳。大学在学中に初めてアメリカへの一人旅を決行、当時世界一といわれた造園会社を視察し、造園業の面白さに開眼。卒業後、父の経営する当社に入社。2015年代表取締役社長就任。

TSR企業コード：27-009534-9 所在地：〒373-0024 群馬県太田市上小林町226
TEL：0276-22-8551 URL：http://yamaume.co.jp/
事業内容：造園工事、樹木生産・販売

優良企業
ガイドは
P446へ！

造園業の枠を超え、海外へも進出

株式会社山梅は、公園やショッピング施設、病院や大学などの教育機関から個人邸の造園・緑化工事を手掛ける会社です。10haの農場をグループ会社として有し、約2万本の樹木を生産。大切に育てられた木は日本全国に出荷され、さまざまな場所で皆様の目を楽しませています。

弊社の出発点は、私の祖父である山田梅二郎が1940年に創業した個人商店で「市(いち)」での植木販売が主な業務でした。戦後の駐留米軍の旧太田ゴルフ場建設への従事や1964年の東京五輪、1970年の大阪万博の各施設へ樹木を納入したりと、移り変わる時代と共に新しい分野を開拓し、大きく成長してまいりました。

父・忠雄の代では「山梅造園土木株式会社」へと改称し、樹木生産と造園工事の両輪で順調に業績を拡大しました。

2015年に私が社長に就任すると同時に従来の造園業の枠を超えた企業になる決意を込めて「株式会社山梅」へと改称し、新たに歩み始めています。

近年は海外からの注文も相次いでおり、中でも中国で日本の造園技術のニーズが急激な高まりを見せています。弊社が技術提供した大規模庭園工事も近く着工予定で、国を超えた事業展開は今後ますます広がっていくでしょう。

東京五輪関連工事も受注

父から弊社の社長を譲り受けた際、私は“Green diversity～緑の多様性～”を会社のテーマに掲げました。これからの時代は樹木や植物だけではなく、動物や昆虫も含めた「自然との



完成したばかりの緑の芝山を従え、笑顔の社長を囲んで。モンベルのチェックのシャツ&アウトドアパンツの制服は、社員にも好評。平均年齢が33歳と若手社員が中心のフレッシュな社風です。

共生」が必要になってくると考えたからです。本社社屋の前庭にはビオトープを作り、太田市と連携してカワナナの保護育成を進めています。また、ゲンジボタルの観察会や里山の再生活動にも積極的に取り組んでいます。

おかげさまで現在では群馬県近郊にとどまらず関東一円、特に東京のニューオープン施設から多数のご注文をいただいております。2020年の東京五輪関連の工事も多数受注し、トリアスロン会場となるお台場海浜公園の整備も手掛けています。全国から注目を集める場所の施工を担当することで、従業員のモチベーションも向上し、やりがいにつながっています。

ワークライフバランスを重視

弊社では、樹木医をはじめ1級造園施工管理技士や1級造園技能士等の有資格者が多数在籍しています。入

社後の資格取得を積極的に奨励し、手厚いサポートも行っています。資格を取得した際には給与に反映し、社員の努力に応えています。

技術系の社員は性別に関係なく現場で実作業を行います。内勤業務にも力を入れているので誰でも活躍できるフィールドが弊社にはあります。

社内環境整備にも取り組み、現在では年間10日の有休完全消化と毎日18時の退社を実現し、ワークライフバランスを重視しています。産休や育休を取得する社員も増え、まもなく弊社2人目の産休・育休社員がお休みに入る予定です。

2019年からは全社員にタブレット端末を支給。毎日の業務日報はチャットシステムで完結するため、現場からわざわざ会社に戻る必要もありません。弊社は社員の働きやすさを第一に、明るく楽しい職場環境を整えています。

一問一答

Q1 求める人材像は？

A1 心身ともに元気で健康な人。性別や学歴を問わず、どなたでも活躍できるフィールドが弊社にはあります。

Q2 仕事のやりがいを教えてください。

A2 ワークライフバランスを保ちながら、働きやすい環境で、楽しく仕事に取り組めること。

Q3 社長の考える優良企業とは？

A3 人を育てられる会社。社員教育は苗木を育てる以上に難しいことですが、「人材」は何よりも欠かせない会社の資源です。